

# エンドオブライフ・ケア援助者養成基礎講座in新潟

## 看取りへの「苦手意識」から「関わる自信」へ

### 人生の最終段階（エンドオブライフ）をケアできる人材育成プログラム

- ◆日程：令和2年1月11日（土）・12日（日） 受付 9:30  
1日目 10:00-18:30 2日目 10:00-18:00
- ◆会場：万代市民会館 6階多目的ホール 新潟市中央区東万代町9-1
- ◆対象：医療・介護・福祉職、行政職、施設職員、傾聴ボランティア等々
- ◆定員：100名 事前申込み ※詳細は裏面をご参照ください。
- ◆受講料：8,000円 ※懇親会5,000円（懇親会会場：万代シルバーホテル）

人生の最終段階にある人やその家族と関わる事を苦手と感じる人は少なくありません。日に日に食事が少なくなり、やがて寝ついていく人と、どのように関わってよいかわからない援助者が、自信を持って支援にあたれるようになることを目的として、この講座は企画されました。解決が困難な苦しみを抱えた人に接しても、“援助を言葉にする”ことで、医療・介護の仕事を問わず、一人ひとりが自信を持って人生の最終段階にある人と関われるようになることを目指します。

人生の最終段階に共通する自然経過、自宅・介護施設で求められる症状緩和や、意思決定支援の基礎知識のほか、エンドオブライフ・ケアの中でも特に難しいとされるスピリチュアルペインに対するケアについて、1対1での対応方法から多職種連携で行う支援方法まで学びます。

#### 学習要素

1. 課題背景（2025年問題に備えて）
2. 人生の最終段階に共通する自然経過
3. 苦しむ人への援助と5つの課題
4. 意思決定支援
5. 自宅・介護施設で求められる症状緩和
6. 多職種連携で「援助」を言葉にする
7. 1対1で対応する（ミクロ）



### 講師：めぐみ在宅クリニック 院長 小澤 竹俊



NHKプロフェッショナル仕事の流儀

「わが家で穏やかに、最後を導く～訪問診療・小澤竹俊～」2017年出演。

1963年東京生まれ。世の中で一番、苦しんでいる人のために働きたいと願い、医師を志し、1987年東京慈恵会医科大学医学部医学科卒業。1991年山形大学大学院医学研究科医学専攻博士課程修了。救命救急センター、農村医療に従事した後、1994年より横浜甞生病院 内科・ホスピス勤務、1996年にはホスピス病棟長となる。2006年めぐみ在宅クリニックを開院、院長として現在に至る。2000年より学校を中心に「いのちの授業」を展開。2013年より、人生の最終段階に対応できる人材育成プロジェクトを開始。2015年4月、一般社団法人エンドオブライフ・ケア協会設立。

主催:ELC養成基礎講座in新潟実行委員会

問い合わせ先 ケアプランセンター春 阿部充子 TEL:070-4427-0885

後援:新潟県 新潟市 三条市 新潟県医師会 新潟市医師会 新発田北蒲原医師会

新潟県看護協会 新潟県介護支援専門員協会 新潟県医療ソーシャルワーカー協会

新潟県社会福祉士会 新潟県介護福祉士会 新潟県薬剤師会 新潟県歯科医師会

むす美プロジェクト

申し込みは裏面をご覧ください